



2024年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2024年2月13日

上場会社名 日清食品ホールディングス株式会社
コード番号 2897 URL <https://nissin.com/jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長・CEO (氏名) 安藤 宏基
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員・CFO (氏名) 矢野 崇
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

上場取引所 東
TEL 03-3205-5111

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		既存事業 コア営業利益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	548,922	9.5	72,801	41.8	68,559	40.8	70,902	40.2	49,051	40.5
2023年3月期第3四半期	501,467	18.0	51,352	18.0	48,707	14.4	50,583	13.4	34,923	13.6

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円 銭		円 銭	
2024年3月期第3四半期	161.32		160.32	
2023年3月期第3四半期	114.58		113.88	

当社は2022年3月期より既存事業コア営業利益を開示しております。既存事業コア営業利益とは新規事業にかかる損益及び非経常損益としての「その他収支」を控除した指標であります。

当社は、2024年1月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	
	百万円		百万円		百万円		%	
2024年3月期第3四半期	790,938		521,103		479,944		60.7	
2023年3月期	708,374		467,949		430,427		60.8	

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	—	65.00	—	75.00	140.00
2024年3月期	—	80.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	40.00	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2024年1月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式分割後の金額を記載し、年間配当金合計は「—」と記載しております。株式分割を考慮しない場合の2024年3月期(予想)の期末配当金は120円00銭、年間配当金は200円00銭であります。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		既存事業 コア営業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的 1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	720,000	7.6	80,000	32.9	73,500 ～76,500	32.1 ～37.5	53,500 ～55,500	19.5 ～24.0	176 ～183

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期の連結業績予想については、既存事業コア営業利益の5～10%の範囲内で積極的な新規事業投資を行っていくため、レンジ形式により開示しております。

当社は、2024年1月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期の連結業績予想における基本的1株当たり当期利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	308,584,500 株	2023年3月期	308,584,500 株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	4,526,586 株	2023年3月期	4,545,561 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	304,058,047 株	2023年3月期3Q	304,807,518 株

当社は、2024年1月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(報告企業)	13
(作成の基礎)	13
(重要性がある会計方針)	13
(セグメント情報)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上収益では前年同期比9.5%増の5,489億22百万円となりました。利益面では、既存事業コア営業利益(注1)は前年同期比41.8%増の728億1百万円、営業利益は前年同期比40.8%増の685億59百万円、税引前四半期利益は前年同期比40.2%増の709億2百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比40.5%増の490億51百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益では前年同期比7.0%増の5,365億61百万円、既存事業コア営業利益は前年同期比38.9%増の713億4百万円となりました。(注2)

当社グループは、2030年に向けた「中長期成長戦略2030」に基づき、ビジョンの実現と持続的成長に向け、成長戦略テーマである①既存事業のキャッシュ創出力強化、②EARTH FOOD CHALLENGE 2030、③新規事業の推進に取り組んでおります。

(注1) 既存事業コア営業利益とは、営業利益から新規事業にかかる損益及び非経常損益としての「その他収支」を控除したものであり、中長期成長戦略上2022年3月期以降積極的かつ継続的な先行投資を予定する新規事業にかかる損益を分離し、その成長投資の基盤となる既存事業の実質的な成長を測定することを目的に採用している指標であります。

(注2) 2024年3月期の外貨金額を、前年同期の為替レートで円換算して比較しております。

<連結業績>

(単位：百万円)

区分	2023年3月期	2024年3月期	対前年同期	
	自 2022年4月1日 至 2022年12月31日	自 2023年4月1日 至 2023年12月31日	金額	%
売上収益	501,467	548,922	47,454	9.5
既存事業コア営業利益	51,352	72,801	21,448	41.8
営業利益	48,707	68,559	19,852	40.8
税引前四半期利益	50,583	70,902	20,318	40.2
親会社の所有者に帰属する四半期利益	34,923	49,051	14,128	40.5

報告セグメント別の業績の概況は、以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間において、当社グループにおける事業管理区分の見直しにより、従来、「その他」に含めていた「ニッシンフーズベトナム CO., LTD.」について、「中国地域」に含めて記載する方法に変更しております。

以下の前年同期比較は前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①日清食品

日清食品(株)の販売状況は、カップめん類、袋めん類、カップライス類が堅調に推移し、価格改定効果もあり、各カテゴリーとも前年同期比で増収となりました。カップめん類では、2023年10月に第1弾、2023年11月に第2弾として発売した「カップヌードル 具材まみれ」シリーズをはじめ、お客さまニーズを捉えた商品が順調に推移しています。袋めん類では、発売65周年商品である「チキンラーメン」をはじめとするロングセラー商品等が売上を伸ばし、増収に寄与しました。カップライス類は、「日清カレーメシ」シリーズが引き続き好調を維持しています。利益面では、原材料価格の上昇等によるコストアップ要因がありましたが、増収効果により増益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比6.1%増の1,771億5百万円、コア営業利益(注3)は、前年同期比8.6%増の271億35百万円、営業利益は、前年同期比8.9%増の272億4百万円となりました。

②明星食品

明星食品(株)の販売状況は、カップめん類、袋めん類とも、前年同期比で増収となりました。

カップめん類では、2023年3月に新発売した「ロカボNOODLESおいしさプラス」が好調に推移したほか、三枚看板ソースでさらに香ばしくなった「明星 一平ちゃん夜店の焼そば」も貢献しました。

袋めん類では、「ホッとする味わい」の訴求を強化した「明星 チャルメラ」シリーズが引き続き好調に推移しました。

利益面では、原材料価格の上昇や広告宣伝費の増加等、費用の増加がありましたが、増収効果により前年同期比で増益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比6.4%増の319億34百万円、コア営業利益(注3)は、前年同期比9.6%増の23億28百万円、営業利益は、前年同期比10.5%増の23億88百万円となりました。

③低温・飲料事業

チルド事業は、新商品の「日清Spa王」や「日清のどん兵衛のおいしい具材」シリーズ、焼そば群、夏場の冷し中華群等が好調に推移しました。さらに、秋季より賞味期限を40日から60日に延長してリニューアルした「行列のできる店のラーメン」が伸長したこともあり、前年同期比で増収となりました。利益面では、原材料価格上昇等によるコストアップがあったものの価格改定が奏功し、前年同期比で増益となりました。

冷凍事業は、ラーメン類、うどん類が堅調に推移し、価格改定効果もあり、前年同期比で増収となりました。ラーメン類では「冷凍 日清中華」、「冷凍 日清まぜ麺亭」シリーズが好調でした。利益面では、原材料価格の上昇等によるコストアップ要因がありましたが、増収効果により前年同期比で増益となりました。

飲料事業は、乳酸菌飲料の「ピルクル400」シリーズ、“睡眠の質を改善し、疲労感を軽減する”「ピルクル ミラクルケア」が引き続き好調に推移したほか、「十勝のむヨーグルト」シリーズも秋のリニューアルで大きく伸長しました。また価格改定効果もあり、前年同期比で増収増益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比10.9%増の715億42百万円、コア営業利益(注3)は、前年同期比117.8%増の72億50百万円、営業利益は、前年同期比130.2%増の73億10百万円となりました。

④菓子事業

菓子事業では、日清シスコ(株)は発売から60年を迎えた「シスコーン」シリーズや「ココナッツサブレ」シリーズが堅調に推移し、前年同期比で増収増益となりました。ぼんち(株)の販売状況は全体では前年を僅かに上回ったものの、原材料高騰等の影響により増収減益となりました。(株)湖池屋においては「湖池屋ポテトチップス」シリーズや「スコーン」シリーズ等の主力商品を中心に販売が拡大したことに加え、価格改定が奏功し、前年同期比で増収増益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比15.1%増の632億57百万円、コア営業利益(注3)は、前年同期比116.9%増の47億40百万円、営業利益は、前年同期比112.1%増の46億14百万円となりました。

⑤米州地域

米州地域全体では、引き続き新たな需要創造に向けた付加価値商品の提案強化や導入推進に加えて価格改定も寄与し、増収増益となりました。

売上については、米国で2022年8月に実施した価格改定後も底堅い即席めん需要が続く中、普及価格帯商品の販売が堅調に推移したことに加え、継続的な高付加価値商品の販売強化に取り組んだことで増収、ブラジルでは生産設備の大型メンテナンスや自然災害による停電を含む生産トラブルの影響で販売数量減があったものの、価格改定効果が寄与し、増収となりました。

利益については、米国において第3工場建設関連等の一時費用が発生したものの、主要原材料等の各種コスト上昇が落ち着きつつあることや、価格改定による増収効果、為替影響等によりセグメント全体で増益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比13.8%増の1,191億79百万円、コア営業利益(注3)は、前年同期比89.0%増の181億22百万円、営業利益は、前年同期比89.6%増の181億29百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益は、前年同期比5.2%増の1,101億98百万円となり、コア営業利益は、前年同期比76.4%増の169億7百万円となりました。(注4)

⑥中国地域

中国地域においては、販売エリア拡大と中国版カップヌードル「合味道」のブランド強化に引き続き取り組んでいます。中国大陸は、リオープン後の景気回復が遅れ、将来に対する不透明感が増し、消費マインドは低調です。一方、香港は中国大陸からのインバウンド旅行者が増加となりましたが、香港市民によるアウトバウンド旅行の増加や消費行動の変化により、即席めんの消費は伸び悩んでいます。こうした状況の下、売上に関しては、カップ麺の販売数量は前年よりも若干増加したものの、前年度の中国大陸のコロナ感染拡大による特需の剥落や家庭内喫食の減少により袋めんの販売数量が伸び悩み、為替影響がありました。利益については、昨年度計上した一過性の政府補助金が今年度なくなり、前年同期比で減益になるも、経常ベースでは主に原材料価格の低下と為替影響により若干の増益になりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比2.6%減の488億46百万円、コア営業利益（注3）は、前年同期比0.3%増の53億53百万円、営業利益は、前年同期比7.7%減の53億80百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益は、前年同期比4.7%減の477億77百万円となり、コア営業利益は、前年同期比0.9%減の52億88百万円となりました。（注4）

また、報告セグメントに含まれない事業セグメントである国内のその他の事業並びに欧州地域、アジア地域、新規事業を含んだ「その他」の売上収益は、前年同期比23.0%増の370億54百万円、コア営業利益（注3）は、前年同期比72.6%増の99億19百万円、営業利益は、前年同期比76.1%増の97億71百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益は、前年同期比15.4%増の347億45百万円となり、コア営業利益は、前年同期比68.8%増の97億2百万円となりました。（注4）

（注3）コア営業利益とは、営業利益から非経常損益としての「その他収支」を控除したものであります。

（注4）2024年3月期の外貨金額を、前年同期の為替レートで円換算して比較しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の当社グループの資産合計は、前連結会計年度末に比べ825億64百万円増加し、7,909億38百万円となりました。当第3四半期連結会計期間末の資産、負債及び資本の状況は次のとおりであります。

資産の増加につきましては、主に有形固定資産が201億87百万円、営業債権及びその他の債権が191億67百万円、棚卸資産が102億51百万円、持分法で会計処理されている投資が80億78百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ294億11百万円増加し、2,698億35百万円となりました。これは主に営業債務及びその他の債務が104億19百万円、未払法人所得税が81億17百万円増加したことによるものであります。

資本につきましては、前連結会計年度末に比べ531億53百万円増加し、5,211億3百万円となりました。これは主に利益剰余金が302億14百万円、その他の資本の構成要素が193億25百万円増加したことによるものであります。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末の60.8%から60.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年11月9日に公表いたしました連結業績予想から変更ありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2023年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	87,388	94,733
営業債権及びその他の債権	101,483	120,651
棚卸資産	57,187	67,438
未収法人所得税	2,092	999
その他の金融資産	10,770	15,194
その他の流動資産	7,240	14,802
流動資産合計	266,162	313,819
非流動資産		
有形固定資産	265,839	286,027
のれん及び無形資産	11,651	12,086
投資不動産	7,224	7,215
持分法で会計処理されている投資	87,538	95,617
その他の金融資産	51,022	57,075
繰延税金資産	13,737	13,690
その他の非流動資産	5,199	5,406
非流動資産合計	442,211	477,118
資産合計	708,374	790,938

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2023年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	140,346	150,766
借入金	12,948	12,000
未払法人所得税	4,474	12,591
その他の金融負債	5,007	4,545
その他の流動負債	21,981	24,866
流動負債合計	184,758	204,770
非流動負債		
借入金	23,272	24,967
その他の金融負債	14,850	17,109
退職給付に係る負債	5,092	5,367
引当金	484	495
繰延税金負債	9,418	14,454
その他の非流動負債	2,547	2,670
非流動負債合計	55,665	65,064
負債合計	240,424	269,835
資本		
資本金	25,122	25,122
資本剰余金	43,585	43,518
自己株式	△11,431	△11,387
その他の資本の構成要素	34,003	53,329
利益剰余金	339,147	369,361
親会社の所有者に帰属する持分合計	430,427	479,944
非支配持分	37,522	41,158
資本合計	467,949	521,103
負債及び資本合計	708,374	790,938

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上収益	501,467	548,922
売上原価	333,524	351,328
売上総利益	167,943	197,593
販売費及び一般管理費	124,191	138,293
持分法による投資利益	4,828	9,589
その他の収益	1,282	1,131
その他の費用	1,155	1,460
営業利益	48,707	68,559
金融収益	2,674	3,125
金融費用	798	783
税引前四半期利益	50,583	70,902
法人所得税費用	13,090	18,312
四半期利益	37,493	52,590
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	34,923	49,051
非支配持分	2,569	3,538
四半期利益	37,493	52,590
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	114.58	161.32
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	113.88	160.32

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
売上収益	184,513	198,551
売上原価	121,273	125,522
売上総利益	63,239	73,029
販売費及び一般管理費	44,377	51,890
持分法による投資利益	2,880	2,876
その他の収益	425	342
その他の費用	492	701
営業利益	21,675	23,656
金融収益	1,023	1,155
金融費用	174	386
税引前四半期利益	22,524	24,425
法人所得税費用	3,849	6,100
四半期利益	18,675	18,324
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	17,541	17,040
非支配持分	1,134	1,284
四半期利益	18,675	18,324
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	57.69	56.04
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	57.34	55.69

(要約四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期利益	37,493	52,590
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融資産	4,603	5,991
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△605	△4,513
純損益に振り替えられることのない項目合計	3,998	1,478
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△54	△48
在外営業活動体の換算差額	2,358	8,795
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	9,226	7,061
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	11,530	15,808
税引後その他の包括利益	15,528	17,286
四半期包括利益	53,021	69,877
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	49,727	65,174
非支配持分	3,293	4,702
四半期包括利益	53,021	69,877

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
四半期利益	18,675	18,324
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する資本性金融資産	584	96
持分法適用会社におけるその他の包括利益 に対する持分	△500	△4,820
純損益に振り替えられることのない項目合計	83	△4,723
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△203	△18
在外営業活動体の換算差額	△7,859	△6,703
持分法適用会社におけるその他の包括利益 に対する持分	△2,335	△974
純損益に振り替えられる可能性のある項目 合計	△10,397	△7,697
税引後その他の包括利益	△10,314	△12,421
四半期包括利益	8,361	5,903
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	8,839	5,461
非支配持分	△477	442
四半期包括利益	8,361	5,903

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2022年4月1日 残高	25,122	49,862	△11,828	2,629	2,398	66	40,343
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	1,637	△59	4,604
四半期包括利益合計	—	—	—	—	1,637	△59	4,604
自己株式の取得	—	△17	△9,791	—	—	—	—
自己株式の処分	—	0	24	△13	—	—	—
自己株式の消却	—	△0	10,166	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	77	—	317	—	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	△6,375	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	△23,263
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△6,316	399	303	—	—	△23,263
2022年12月31日 残高	25,122	43,546	△11,428	2,933	4,035	6	21,684

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素					
	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	合計	利益剰余金	合計	非支配持分	合計
2022年4月1日 残高	△215	45,221	299,281	407,660	36,930	444,590
四半期利益	—	—	34,923	34,923	2,569	37,493
その他の包括利益	8,621	14,804	—	14,804	724	15,528
四半期包括利益合計	8,621	14,804	34,923	49,727	3,293	53,021
自己株式の取得	—	—	—	△9,809	—	△9,809
自己株式の処分	—	△13	△11	0	—	0
自己株式の消却	—	—	△10,166	—	—	—
配当金	—	—	△12,736	△12,736	△2,481	△15,217
株式に基づく報酬取引	—	317	—	394	—	394
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	△6,375	△1,549	△7,924
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	493	△22,770	22,770	—	—	—
その他の増減	—	—	24	24	△59	△34
所有者との取引額合計	493	△22,466	△118	△28,501	△4,090	△32,592
2022年12月31日 残高	8,898	37,559	334,086	428,886	36,134	465,020

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2023年4月1日 残高	25,122	43,585	△11,431	2,933	6,655	33	20,796
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	7,643	△48	5,979
四半期包括利益合計	—	—	—	—	7,643	△48	5,979
自己株式の取得	—	—	△8	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	52	△32	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	122	—	—	—	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	△189	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	△1,182
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△66	43	△32	—	—	△1,182
2023年12月31日 残高	25,122	43,518	△11,387	2,900	14,299	△14	25,593

	親会社の所有者に帰属する持分					
	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分			その他の資本の構成要素		合計
	合計	利益剰余金	合計	非支配持分	合計	
2023年4月1日 残高	3,584	34,003	339,147	430,427	37,522	467,949
四半期利益	—	—	49,051	49,051	3,538	52,590
その他の包括利益	2,547	16,122	—	16,122	1,164	17,286
四半期包括利益合計	2,547	16,122	49,051	65,174	4,702	69,877
自己株式の取得	—	—	—	△8	—	△8
自己株式の処分	—	△32	△19	0	—	0
配当金	—	—	△15,709	△15,709	△1,095	△16,804
株式に基づく報酬取引	—	—	—	122	—	122
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	△189	108	△81
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	4,418	3,235	△3,235	—	—	—
その他の増減	—	—	127	127	△79	47
所有者との取引額合計	4,418	3,203	△18,837	△15,657	△1,066	△16,723
2023年12月31日 残高	10,551	53,329	369,361	479,944	41,158	521,103

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(報告企業)

日清食品ホールディングス株式会社(以下、当社)は日本に所在する株式会社です。当社の登記されている本社及び主要な事業所の住所は、当社のウェブサイト(<https://www.nissin.com/jp/>)で開示しております。当社の要約四半期連結財務諸表は、当社及び子会社(以下、当社グループ)、並びに当社の関連会社に対する持分により構成されております。

当社グループの事業内容及び主要な活動は、注記(セグメント情報)に記載しております。

(作成の基礎)

(1) IFRSに準拠している旨に関する事項

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)第1条の2に掲げる「指定国際会計基準特定会社」の要件を満たすことから、同第93条の規定により、IAS第34号に準拠して作成しております。

なお、本要約四半期連結財務諸表は、2024年2月13日に取締役会によって承認されております。

(2) 機能通貨及び表示通貨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、単位を百万円としております。また、百万円未満の端数は切捨てて表示しております。

(重要性がある会計方針)

当社グループの要約四半期連結財務諸表において適用する重要性がある会計方針は、前連結会計年度において適用した会計方針と同一であります。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、その経営成績を定期的に検討を行う対象となっているものであります。

第1四半期連結会計期間において、当社グループにおける事業管理区分の見直しにより、従来、「その他」に含めていた「ニッシンフーズベトナム CO., LTD.」について、「中国地域」に含めて記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間及び前第3四半期連結会計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分に基づき作成したものを開示しております。

当社グループは、持株会社制を採り、国内8事業会社、海外4地域を戦略プラットフォームとして即席めん事業、低温・飲料事業、菓子事業を展開し、「日清食品」、「明星食品」、「低温・飲料事業」、「菓子事業」、「米州地域」、「中国地域」を報告セグメントとしております。「日清食品」、「明星食品」、「米州地域」、「中国地域」は主として即席袋めん及びカップめんを製造販売し、「低温・飲料事業」はチルド製品、冷凍製品及び飲料製品を製造販売し、「菓子事業」は菓子製品を製造販売しております。

(2) セグメント収益及び業績

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、(重要性がある会計方針)における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温・ 飲料事業	菓子事業	米州地域	中国地域	計				
売上収益											
外部顧客への売上収益	166,967	30,009	64,529	54,964	104,738	50,138	471,347	30,119	501,467	—	501,467
セグメント間の内部売 上収益又は振替高	1,107	4,184	586	280	29	2,138	8,326	28,914	37,240	△37,240	—
計	168,074	34,193	65,115	55,244	104,768	52,277	479,673	59,034	538,708	△37,240	501,467
セグメント利益 (営業利益)	24,986	2,162	3,175	2,176	9,561	5,828	47,890	5,548	53,439	△4,731	48,707
金融収益											2,674
金融費用											798
税引前四半期利益											50,583
その他の項目											
減価償却費	10,455	1,670	1,856	2,137	1,196	2,137	19,453	2,345	21,799	24	21,823
減損損失(非金融資 産)	—	—	—	—	—	179	179	—	179	—	179
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	—	4,828	4,828	—	4,828
資本的支出	6,010	900	1,424	1,047	3,908	2,892	16,183	1,886	18,069	△3	18,065

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内のその他の事業並びに欧州地域、アジア地域、新規事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△4,731百万円には、セグメント間取引消去等△118百万円、グループ関連費用△4,612百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温・ 飲料事業	菓子事業	米州地域	中国地域	計				
売上収益											
外部顧客への売上収益	177,105	31,934	71,542	63,257	119,179	48,846	511,867	37,054	548,922	—	548,922
セグメント間の内部売 上収益又は振替高	1,043	4,472	622	369	36	2,355	8,899	31,111	40,011	△40,011	—
計	178,149	36,407	72,165	63,626	119,216	51,202	520,767	68,165	588,933	△40,011	548,922
セグメント利益 (営業利益)	27,204	2,388	7,310	4,614	18,129	5,380	65,028	9,771	74,799	△6,239	68,559
金融収益											3,125
金融費用											783
税引前四半期利益											70,902
その他の項目											
減価償却費	10,785	1,590	1,907	2,207	1,769	2,555	20,816	2,411	23,228	32	23,260
減損損失(非金融資 産)	—	—	—	—	—	160	160	—	160	—	160
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	—	9,589	9,589	—	9,589
資本的支出	7,219	1,065	1,373	3,112	17,905	3,920	34,596	5,275	39,872	△42	39,829

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内のその他の事業並びに欧州地域、アジア地域、新規事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△6,239百万円には、セグメント間取引消去等△353百万円、グループ関連費用△5,886百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

前第3四半期連結会計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温・ 飲料事業	菓子事業	米州地域	中国地域	計				
売上収益											
外部顧客への売上収益	65,104	10,737	22,939	19,754	38,719	16,389	173,645	10,867	184,513	—	184,513
セグメント間の内部売 上収益又は振替高	342	1,374	225	56	12	965	2,976	10,059	13,035	△13,035	—
計	65,447	12,111	23,164	19,811	38,731	17,355	176,622	20,926	197,548	△13,035	184,513
セグメント利益 (営業利益)	9,934	761	1,618	911	5,252	1,985	20,465	2,746	23,211	△1,535	21,675
金融収益											1,023
金融費用											174
税引前四半期利益											22,524
その他の項目											
減価償却費	3,530	561	616	717	420	733	6,579	731	7,311	8	7,319
減損損失(非金融資 産)	—	—	—	—	—	179	179	—	179	—	179
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	—	2,880	2,880	—	2,880
資本的支出	1,679	275	407	211	993	1,214	4,783	631	5,415	—	5,415

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内のその他の事業並びに欧州地域、アジア地域、新規事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,535百万円には、セグメント間取引消去等1百万円、グループ関連費用△1,537百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結会計期間(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温・ 飲料事業	菓子事業	米州地域	中国地域	計				
売上収益											
外部顧客への売上収益	69,302	11,582	24,769	22,377	42,470	15,910	186,411	12,139	198,551	—	198,551
セグメント間の内部売 上収益又は振替高	284	1,440	227	110	15	746	2,825	10,602	13,427	△13,427	—
計	69,587	13,022	24,996	22,487	42,485	16,656	189,236	22,742	211,979	△13,427	198,551
セグメント利益 (営業利益)	11,812	1,182	2,180	1,793	4,894	1,567	23,430	2,241	25,671	△2,015	23,656
金融収益											1,155
金融費用											386
税引前四半期利益											24,425
その他の項目											
減価償却費	3,588	537	638	752	633	978	7,128	834	7,962	7	7,970
減損損失(非金融資 産)	—	—	—	—	—	160	160	—	160	—	160
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	—	2,876	2,876	—	2,876
資本的支出	2,657	276	710	638	3,605	1,149	9,038	1,146	10,184	—	10,184

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内のその他の事業並びに欧州地域、アジア地域、新規事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△2,015百万円には、セグメント間取引消去等△53百万円、グループ関連費用△1,962百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。